

目次

	ページ
1. はじめに	1
はじめに	1
動作環境	1
用語の説明	2
2. セットアップ	3
インストール	3
ソフトを起動する	4
アンインストール	5
3. 操作方法	6
メイン画面	6
成果参照	7
成果チェック	10
チェック結果画面について	12
フォルダの参照	15
管理ファイルの内容を参照	16
成果の確認	18
印刷	19
4. エラー内容について	21
フォルダ・ファイルチェックについてのエラー内容	21
管理ファイルチェックについてのエラー内容	23

1. はじめに

■はじめに

平成17年度より、地籍調査事業においても受発注者の協議により、地籍調査成果電子納品要領に基づく成果品の電子納品が可能になりました。電子納品された成果は保存・管理や二次利用に便利な反面、作成する際には様々な規定があり、正しく作成されているかを確認するには多大な労力を必要とします。

本ソフトウェアは、地籍調査事業における電子成果が正しく配置・格納されているかを確認することで、成果品検査作業を軽減するとともに、正確な成果品を納品させることを目的とします。

本ソフトウェアは、以下の電子納品成果に対応しています。

- ・ **地籍調査成果**

「地籍調査成果電子納品要領」平成29年4月版を基準としています。

- ・ **官民境界等先行調査**

「官民境界等先行調査成果電子納品要領」平成29年4月版を基準としています。

■動作環境

本ソフトは、以下の環境でお使い頂けます。

- ・ OS 日本語 Microsoft Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10
- ・ コンピュータ 上記 OS が動作するコンピュータ
 - ・ CPU 上記 OS が快適に動作する性能
 - ・ メモリ 上記 OS が快適に動作する容量
 - ・ ハードディスク インストールの際に 10MB 程度必要
ソフトを動作するに当たり、10MB 程度必要
 - ・ グラフィック機能 解像度 1024×768 ドット以上
 - ・ その他 成果の読み込みに、CD-ROM 等のメディアを読み込めるドライブが必要になります。
- ・ プリンタ 上記 OS から印刷可能なプリンタ
- ・ 必要なソフトウェア Internet Explorer

2. セットアップ

■インストール

ソフトを使用するには、インストール作業（コンピュータへソフトを組み込む作業）が必要になります。インストール作業は、以下の手順に沿って作業を行ってください。

※インストール作業を行う際は、管理者権限でログオンしてください。

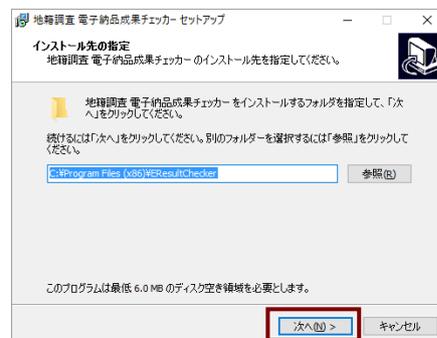
手順

本ソフトが動作するには、InternetExplorer が必要になります。

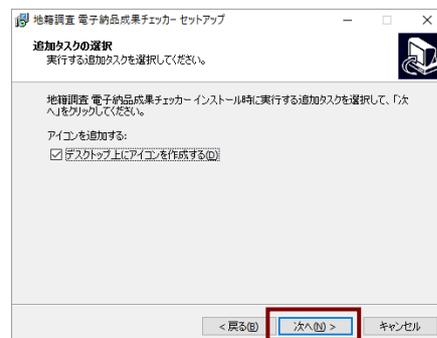
- ①セットアップファイルの中から、「Setup.exe」又は「Setup」という名前のファイルをダブルクリックして実行してください。



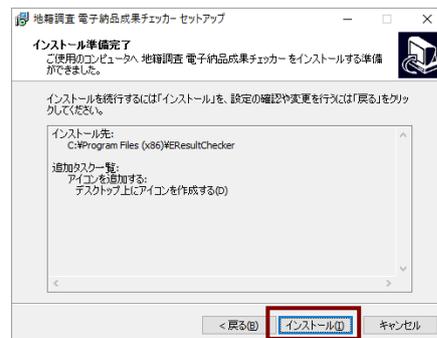
- ②[インストール先の指定]画面が表示されます。通常はそのまま[次へ]ボタンをクリックしてください。ソフトをインストールするフォルダを指定したい場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。



- ③[追加タスクの選択]画面が表示されたら、そのまま[次へ]ボタンをクリックしてください。



- ⑤[インストール準備完了]画面が表示されたら、[インストール]ボタンをクリックしてください。インストール処理が開始されます。



- ⑥正常にインストール処理が終了したら、完了画面が表示されます。

■ソフトを起動する

インストールが完了すると、デスクトップにアイコンが作成されるので、そこからソフトを起動します。



また、Windows のプログラムメニューに「地籍調査 電子納品成果チェッカー」という名前のグループが作成されるので、そこからでも起動できます。

■アンインストール

ソフトをパソコンから消去するには、以下の手順でアンインストール作業を行ってください。

※アンインストール作業を行う際は、パソコンの管理者権限があるユーザでログオンしてください。

手順

①ソフトが起動している場合は、終了してください。

②コントロールパネルを表示します。

Windows Vista/7 : 画面左下の Windows のスタートボタンをクリックし、メニューから[コントロールパネル]をクリックします。

Windows 8 : マウスマウスカーソルを画面の左下に移動し、右ボタンをクリックします。メニューが表示されるので、[コントロールパネル]をクリックします。

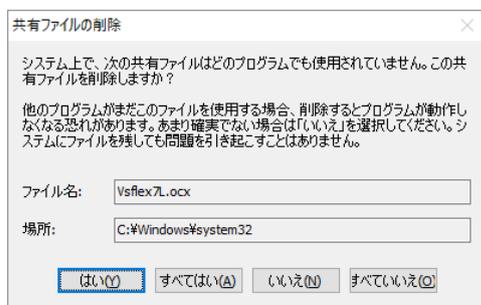
Windows 8.1/10 : 画面左下の Windows のスタートボタンを右ボタンでクリックします。メニューが表示されるので、[コントロールパネル]をクリックします。

③コントロールパネル内の[プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]をクリックします。

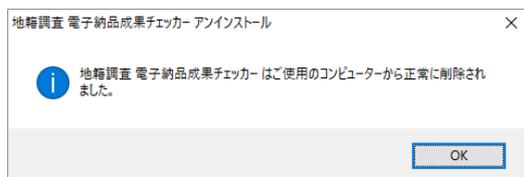
④ソフトの一覧から [地籍調査電子納品成果チェッカー]を選択し、上部の[アンインストール]をクリックします。

⑤アンインストール処理が開始されます。

途中、下の画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックしてください。



⑥最後に下のメッセージが表示されたら、完了です。



3. 操作方法

■メイン画面

ソフトを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。



・ 成果参照

成果メディア内、または指定フォルダ内の、成果フォルダ及びファイルの構成を参照します。詳しくは7ページ以降を参照してください。

・ 成果チェック

成果のチェックを実行します。詳しくは10ページ以降を参照してください。

・ 終了

ソフトを終了します。

■ 成果参照

成果メディアまたは指定した場所の、成果フォルダ及びファイルの構成を参照します。
電子納品による成果ファイルは、ファイル名が記号で表されているため、内容が分かりづらい場合があります。
「成果参照」機能により成果を参照すると、成果の内容をわかりやすく表示します。

①メイン画面から、[成果参照] ボタンをクリックすると、以下の[成果ファイル場所指定]画面が表示されます。

成果ファイル場所指定画面

成果ファイル場所指定

成果ファイルがある場所を指定してください。

ドライブを指定する (CD/DVD/BD 态直接チェックする)

C: [v]

フォルダを指定する

[] 参照...

(成果の INDEX_D.XML が格納されている場所を指定してください)

OK キャンセル

②成果が格納された CD、DVD または BD(Blu-ray Disc) をドライブにセットして、そのドライブを選択します。
成果が CD 等ではなくパソコンのハードディスクにある場合は、[フォルダを指定する] を選択し、成果ファイルが格納されているフォルダ (管理ファイル INDEX_D.XML が格納されているフォルダ) を選択します。

※成果メディアをドライブにセットした際、コンピュータがメディアを認識するまで多少時間がかかります。
認識できていないまま実行すると、「ドライブの準備ができていないか、ドライブの指定が不正です。」とメッセージが表示される場合があります。

③[OK] ボタンをクリックすると、指定したフォルダ内に格納されている成果ファイルが、以下の[成果参照]画面に表示されます。

成果参照画面

フォルダ・ファイル	ファイル更新日時	内容
INDEX_D.XML	2016/03/02 14:29	業務管理ファイル
TIND_001.DTD	2014/02/07 17:37	業務管理ファイル用DTD
TIND_001.XSL	2014/02/06 08:44	業務管理ファイル用書式ファイル
SURVEY	2017/08/04 11:54	測量データフォルダ
SURVEY.XML	2016/03/02 10:01	測量情報管理ファイル
TSUR_001.DTD	2014/02/07 17:41	測量情報管理ファイル用DTD
TSUR_001.XSL	2014/02/07 17:41	測量情報管理ファイル用書式ファイル
DOC	2017/08/04 11:54	ドキュメントサブフォルダ
MEETS001.PDF	2016/03/01 16:41	協議書
MEETS002.PDF	2016/03/01 16:41	協議書
SPECS001.PDF	2016/03/01 16:40	特記仕様書
SPECS002.PDF	2016/03/01 16:40	特記仕様書
TISEKI	2017/08/04 11:54	地籍調査サブフォルダ
SURV_TSK.XML	2016/11/21 11:02	地籍調査成果管理ファイル
TISK_001.DTD	2014/02/07 17:41	地籍調査成果管理ファイル用DTD
TISK_001.XSL	2014/02/07 17:42	地籍調査成果管理ファイル用書式ファイル
DATA	2017/08/04 11:54	測量成果サブフォルダ
CPROC_A	2017/08/04 11:54	地籍図根三角測量サブフォルダ
TCAA2001.PDF	2016/03/01 13:59	地籍図根三角点成果簿
TCAA2002.PDF	2016/03/01 13:59	地籍図根三角点成果簿
TCAF8001.P21	2015/03/20 13:06	地籍図根三角点網図 (SXF)
TCAF8002.PDF	2016/03/01 14:00	地籍図根三角点網図 (PDF)
TCAF8003.PDF	2016/03/01 14:00	地籍図根三角点網図 (PDF)
DPROC_A	2017/08/04 11:54	地籍図根多角測量サブフォルダ
TDAA2001.PDF	2016/03/01 14:22	地籍図根多角点成果簿
TDAA2002.PDF	2016/03/01 14:23	地籍図根多角点成果簿
TDAF8001.P21	2015/03/20 13:06	地籍図根多角点網図 (SXF)
TDAF8002.PDF	2016/03/01 14:23	地籍図根多角点網図 (PDF)
TDAF8003.PDF	2016/03/01 14:23	地籍図根多角点網図 (PDF)
EPROC_A	2017/08/04 11:54	一筆地調査サブフォルダ
TEA81001.PDF	2016/03/01 14:33	地籍調査票 (立会押印後)
TEA81002.PDF	2016/03/01 14:33	地籍調査票 (立会押印後)
TEAF3001.PDF	2016/03/01 14:34	調査図
TEAF3002.PDF	2016/03/01 14:34	調査図
FIPROC_A	2017/08/04 11:54	細部図根測量サブフォルダ

フォルダ及びファイルの構成が[フォルダ・ファイル]欄へツリー形式で表示されます。 をクリックすると、ツリーを閉じたり展開して表示できます。そのファイルの更新日時が[ファイル更新日時]欄へ表示されます。
また、そのファイルがどういった成果なのかが[内容]欄へ表示されます。

・開く

ファイル名をクリックして選択し、[開く]ボタンをクリックすると、選択したファイルに関連付けられたアプリケーションで開かれます。

・エクスプローラ

フォルダ又はファイル名をクリックして選択し、[エクスプローラ]ボタンをクリックすると、Windowsのエクスプローラが起動し、選択したフォルダ又はファイルが格納されているフォルダが表示されます。

・印刷

現在表示されている内容を印刷します。[印刷]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

・閉じる

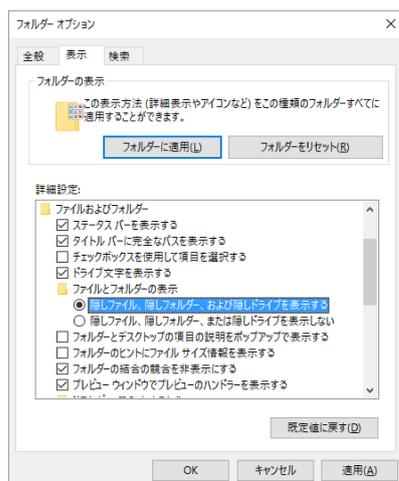
[閉じる]ボタンをクリックすると、この画面を閉じます。

●ファイル属性について

・隠しファイル

緑色で表示されたファイルは、「隠し属性」が設定されています。このファイルは通常はエクスプローラ等には表示されなくなっています。

隠しファイルを表示するには、エクスプローラのフォルダーオプションを表示し、[表示]タブの中で隠しファイルを表示するよう設定します。



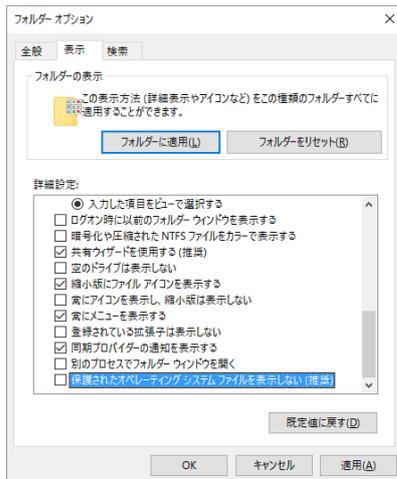
ファイルの隠し属性は、エクスプローラから該当のファイルのプロパティを表示すると設定・解除できます。

・ システムファイル

ピンク色で表示されたファイルは、「システム属性」ファイルです。Windows が使用する特殊なファイルで、通常はエクスプローラ等から参照できなくなっています。

特に、「Thumbs.db」や「desktop.ini」というシステム属性ファイルは自動で作成される場合があり、知らない間に成果に含まれている可能性があります。成果に余分なファイルを含めるのは好ましくない為、成果の中に見つけたら削除することをお勧めします(成果フォルダの中の Thumbs.db や desktop.ini を削除しても、Windows の動作に影響はありません)。

隠しファイルを参照するには、エクスプローラのフォルダーオプションを表示し、[表示]タブの中にある[保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない]チェックをオフにします。



※上記のフォルダオプションは、重要なファイルを保護する機能の為、設定を行う際にはパソコンを管理している担当者から許可を得てください。

■成果チェック

電子納品の成果が、規定に沿って納められているかチェックします。

- ①メイン画面から、[成果チェック]ボタンをクリックすると、以下の[成果ファイル場所指定]画面が表示されます。

成果ファイル場所指定画面

成果ファイル場所指定

成果1枚目の場所を指定してください。

ドライブを指定する (CD/DVD/BDを直接チェックする)

C:

フォルダを指定する

参照...

(成果の INDEX_D.XML が格納されている場所を指定してください)

OK キャンセル

- ②成果が格納されたCD、DVDまたはBD(Blu-ray Disc)をドライブにセットして、そのドライブを選択します。成果メディアが複数枚に渡る場合は、1枚目のメディアを挿入してください。成果がCD等ではなくパソコンのハードディスクにある場合は、[フォルダを指定する]を選択し、成果ファイルが格納されているフォルダ(ファイル INDEX_D.XML が格納されているフォルダ)を選択します。

※成果メディアをドライブにセットした際、コンピュータがメディアを認識するまで多少時間がかかります。認識できていないまま実行すると、「ドライブの準備ができていないか、ドライブの指定が不正です。」とメッセージが表示される場合があります。

- ③[OK]ボタンをクリックすると、成果の内容を読み取り、以下の[チェック内容設定]画面が表示されます。

チェック内容設定画面

地籍調査成果

チェック内容設定

成果内容

地籍調査成果

「地籍調査成果電子納品要領」平成29年4月版を基に検査します。

工程

C 地籍図根三角測量 PA 対空標識の設置

D 地籍図根多角測量 PB 空中写真撮影

E 一筆地調査 PC 標定点測量

F I 細部図根測量 PD 空中三角測量(航測法)

F II 一筆地測量 PE 空中三角測量(併用法)

G 地積測定 PF 図化

H 地籍図及び地籍簿の作成

FR 現況測量・復元測量

地上法 航測法 併用法

ファイルの更新日時をチェックする

チェック期間

1900年 1月 1日以降

2018年 3月 1日以前

成果メディア(CD/DVD/BD)枚数

1枚

ヘルプ 開始 閉じる

官民境界等先行調査成果

チェック内容設定

成果内容

官民境界等先行調査成果

「官民境界等先行調査成果電子納品要領」平成29年4月版を基に検査します。

工程

C 地籍図根三角測量

D 地籍図根多角測量

E' 先行境界点調査

F' I 細部図根測量

F' II 先行境界点測量及び街区調査図原図作成

G' 街区面積計算

H' 街区調査図及び街区整理簿の作成

FR 現況測量・復元測量

地上法 航測法 併用法

ファイルの更新日時をチェックする

チェック期間

1900年 1月 1日以降

2018年 3月 1日以前

成果メディア(CD/DVD/BD)枚数

1枚

ヘルプ 開始 閉じる

チェックを開始する際の設定を行います。ここで設定した内容を基に、チェックを行います。

・ 成果内容

チェックを行う成果の内容を選択します。

・ 工程

成果メディア内にどの工程の成果が格納されているかを指定します。ここで指定した内容を基に、成果ファイルの過不足を判定します。

成果の内容により、工程が異なります。

・ 成果メディア枚数

メディア（CD、DVDまたはBD）が合計で何枚になるかを入力します。

※成果メディアは1枚が標準です。

・ ファイルの更新日付をチェックする

成果ファイルの更新日のチェックを行いたい場合は、チェックをオンにし、日付を入力します。

※成果内容・成果メディア枚数・工程は、あらかじめ成果メディアから読み取った成果から判断して入力されています。内容が誤っている場合は、修正してください。

④[開始]ボタンをクリックすると、チェック処理が開始されます。

[チェック内容設定]画面で、成果メディア枚数を2枚以上に指定した場合、2枚目以降の成果の場所を指定する[成果ファイル場所指定]画面が表示されます。「成果〇枚目のフォルダを指定してください。」と表示されるので、対応するメディアをドライブに挿入し、ドライブを指定してください。

⑤全ての成果メディアに対してチェックが終了すると、[チェック結果]画面が表示されます。

チェックの結果、規定に沿っていない部分が検出されると、エラーとして内容が表示されます。

■チェック結果画面について

成果のチェックが終了すると、以下の[チェック結果]画面が表示されます。
チェックの結果、規定に沿っていない部分が検出されると、エラーとして内容が表示されます。

チェック結果画面

The screenshot shows a window titled 'チェック結果' (Check Results) for a '地籍調査' (Land Registry Survey). The status is 'チェックの結果、エラーが検出されました。' (Check results, errors detected). It contains two tables: 'チェック箇所' (Check Locations) and 'チェック内容' (Check Contents). Below these is a table for '検出エラー内容' (Detected Error Content).

チェック箇所	結果
成果1枚目	×
成果全体	○

チェック内容	結果
フォルダ・ファイル構成	×
業務管理ファイル (INDEX_D.XML)	×
測量情報管理ファイル (SURVEY.XML)	×
地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML)	×

エラー箇所	内容
SURVEY\TISEKI\WORK\DPROC_A\TDAC2001.PDF	規定以外の成果ファイルが存在します
SURVEY\TISEKI\DATA\F1PROC_A\TF7004.PDF	成果ファイル名の番号が連番になっていません
SURVEY\TISEKI\DATA\F2PROC_A\TF3003.DXF	PDF以外の成果ファイル名の番号が、PDF成果ファイル名の番号より前になっていません
SURVEY\TISEKI\WORK\DPROC_A\TDAC2001.PDF	成果ファイル名が地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されていません
SURVEY\TISEKI\DATA\F1PROC_A\TF7004.PDF	成果ファイル名が地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されていません

・チェック箇所

チェック処理では、成果メディア単位で内容をチェックする他、(メディア枚数分の) 成果全体での整合性をチェックします。

チェックの結果、成果メディア毎にエラーの有無が[結果]欄へ○×で表示されます。また、成果全体を通してチェックした内容については、[成果全体]という項目に結果が表示されます。

・チェック内容

チェックを行った箇所およびエラーの有無が表示されます。項目をクリックすると、検出されたエラーの内容が、[検出エラー内容]欄へ表示されます。

・検出エラー内容

チェック内容ごとに、検出されたエラーの内容が表示されます。

チェックの結果エラーが検出された場合、画面上部に「チェック結果」としてメッセージが表示されます。

また、[チェック箇所][チェック内容]欄にエラーが検出された箇所の[結果]欄が「×」となっています。その箇所をクリックすると[検出エラー内容]にチェック内容毎の情報が表示されるので、その情報を基に成果を修正してください。

● 検出エラー内容

・ フォルダ・ファイル構成

[チェック内容]欄から[フォルダ・ファイル構成]タブをクリックすると、フォルダ及びファイルが正しく格納されているかについてチェックした内容が表示されます。

チェック箇所		チェック内容		成果参照
チェック箇所	結果	チェック内容	結果	
成果1枚目	×	フォルダ・ファイル構成	×	成果参照
成果全体	○	業務管理ファイル (INDEX_U.XML)	×	管理ファイル参照
		測量情報管理ファイル (SURVEY.XML)	×	
		地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML)	×	成果一覧

検出エラー内容	
エラー箇所	内容
SURVEY\TISEKI\WORK\PROC_A\TDAC2001.PDF	規定以外の成果ファイルが存在します
SURVEY\TISEKI\DATA\F1PROC_A\TFAF7004.PDF	成果ファイル名の番号が連番になっていません
SURVEY\TISEKI\DATA\F2PROC_A\TFAF3003.DXF	PDF以外の成果ファイル名の番号が、PDF成果ファイル名の番号より前になっていません
SURVEY\TISEKI\WORK\PROC_A\TDAC2001.PDF	成果ファイル名が地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されていません
SURVEY\TISEKI\DATA\F1PROC_A\TFAF7004.PDF	成果ファイル名が地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されていません

[エラー箇所]欄は、エラーが検出されたフォルダまたはファイルが表示されます。チェック開始時に指定した場所を基準とした相対パスで表示されます。

・ 業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、地籍調査成果管理ファイル

[業務管理ファイル]タブ、[測量情報管理ファイル]タブ、[地籍調査成果管理ファイル]タブをクリックするとそれぞれの管理ファイルの記述内容についてチェックした内容が表示されます。

チェック箇所		チェック内容		成果参照
チェック箇所	結果	チェック内容	結果	
成果1枚目	×	フォルダ・ファイル構成	×	成果参照
成果全体	○	業務管理ファイル (INDEX_D.XML)	×	管理ファイル参照
		測量情報管理ファイル (SURVEY.XML)	×	
		地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML)	×	成果一覧

検出エラー内容	
エラー箇所	内容
/gyomudata/基礎情報/適用要領基準	規定の内容で記述されていません

各管理ファイルはXMLで記述されている為、項目が階層構造になっています。
[エラー箇所]欄は、XML要素の階層を / で区切って表示しています。

例：<地籍調査成果情報>

<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAA1001.PDF</地籍調査成果ファイル名>

<成果ファイル情報>

<地籍調査成果情報>

と記述されている場合、エラー箇所は

「/地籍調査成果情報/成果ファイル情報/地籍調査成果ファイル名」

と表示されます。

また、同じ名前の項目が複数存在する場合、何番目の項目かが（ ）付で表示されます。

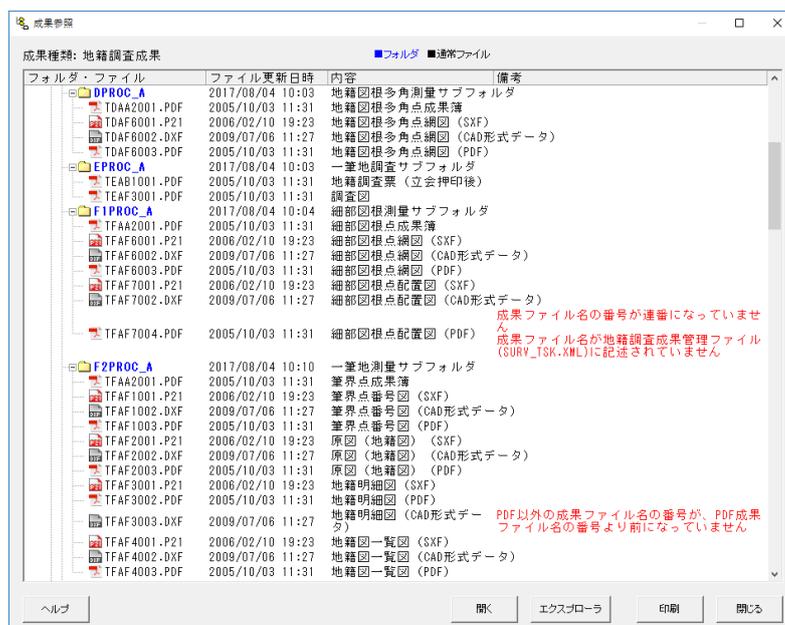
[管理ファイル参照]ボタンをクリックすると、管理ファイルに記述されている内容が表示されます。
(画面については16ページを参照してください)

●フォルダの参照

成果のフォルダ・ファイル構成を表形式で画面に表示します。

[チェック結果]画面]で[チェック箇所]リストから成果メディアを選択し、[成果参照]ボタンをクリックすると、[成果参照]画面が表示され、選択した成果のファイル構成が表示されます。(操作方法については7ページを参照してください)

成果参照画面



チェックの結果、フォルダ・ファイル構成にエラーが検出された場合は、備考欄へエラー内容が表示されます。

[チェック結果]画面]で[成果参照]ボタンをクリックした際、成果メディアがドライブにセットされていないか、[チェック箇所]リストから選択した成果メディアと異なるメディアがセットされている場合は、[成果ファイル場所指定]画面が表示されます。ここでチェックを行った成果メディアをドライブにセットし、成果の場所を指定してください。

●管理ファイルの内容を参照

各管理ファイルの内容を表形式で画面に表示します。

[チェック結果]画面で[検出エラー内容]欄から管理ファイルを選択し[管理ファイル参照]ボタンをクリックすると、[管理ファイル表示]画面が表示され、管理ファイルの内容が表示されます。

管理ファイル表示画面

要素	値	備考
SURVEY		
SYSTEM	TSUR_D01.DTD	
DTD_version	02	
SURVEY		
DTD_version	02	
基礎情報		
通用情報基準	地籍200502-01	規定の内容で記述されていません
助言番号	H13C0052	
製品仕様書名または作業規程名	国土交通省公共測量作業規程	
第三者機関成果検定の有無		必要なデータが記述されていません
地籍調査成果格納用フォルダ名	TISEKI	
ドキュメント格納用フォルダ名	DOC	
場所情報		
測量区域番号	1	
測量区域名	〇〇県××市△△地区	
区域情報		
西側境界座標経度		
東側境界座標経度		
北側境界座標緯度		
南側境界座標緯度		
平面直角座標系	9	
西側境界平面直角座標	-60000.00	
東側境界平面直角座標	-40000.00	
北側境界平面直角座標	-28500.00	
南側境界平面直角座標	-39000.00	
測量情報		
測量区分	地籍調査	

各管理ファイルはXMLで記述されている為、項目が階層構造になっています。[要素]欄へタグが階層構造に合わせてツリー形式で表示されます。[+] [-]をクリックすると、ツリーを閉じたり展開して表示できます。要素内に記述されているデータが[値]欄へ表示されます。

例：〈地籍調査成果情報〉

 〈成果ファイル情報〉

 〈地籍調査成果ファイル名〉TCAA1001.PDF〈/地籍調査成果ファイル名〉

 〈成果ファイル情報〉

〈地籍調査成果情報〉

と記述されている場合、画面では

<input type="checkbox"/> 地籍調査成果情報	
<input checked="" type="checkbox"/> 成果ファイル情報	
地籍調査成果ファイル名	TCAA1001.PDF

と表示されます。

また、チェックの結果、エラーが検出された場合は、内容が[備考]欄へ表示されます。

・印刷

現在表示されている内容を印刷します。[印刷]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

・閉じる

[閉じる]ボタンをクリックすると、この画面を閉じます。

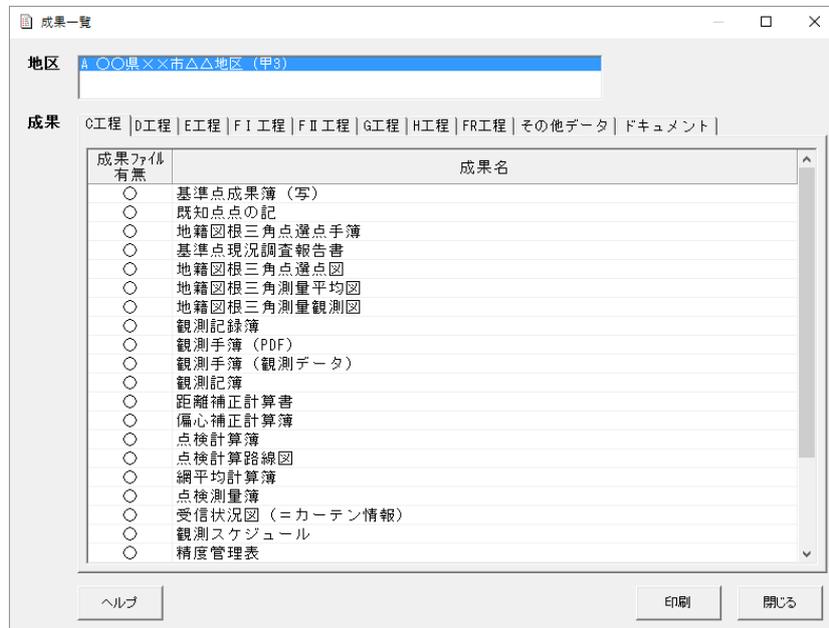
[チェック結果]画面]で[管理ファイル参照]ボタンをクリックした際、成果メディアがドライブにセットされていなかったり、[チェック箇所]リストから選択した成果メディアと異なるメディアがセットされている場合は、[成果ファイル場所指定]画面が表示されます。ここでチェックを行った成果メディアをドライブにセットし、成果の場所を指定してください。

・ 成果の確認

成果メディア内に納められている成果を確認することができます。

[チェック結果]画面]で[成果一覧]ボタンをクリックすると、[成果一覧]画面が表示されます。

成果一覧画面



・ 地区

[地区]欄に、成果メディア内に納められている地区が表示されます。

ここから地区を選択すると、それに合わせて成果の有無の表示が切り替わります。

・ 成果

地区別に、成果メディア内に存在する工程がタブに表示されます。

タブをクリックすると、その工程内での成果名称が[成果名]欄へ表示され、実際に成果ファイルが存在するかどうか、[成果ファイル有無]欄へ○×で表示されます。

工程及び成果の有無は、成果メディア内のフォルダ及びファイルの有無で判断しています。

・ 印刷

[印刷]ボタンをクリックすると、表示している内容を印刷します。

・ 閉じる

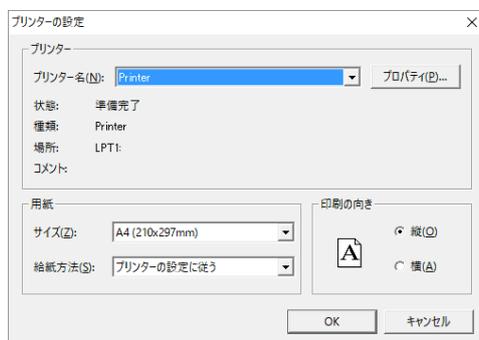
[閉じる]ボタンをクリックすると、[成果一覧]画面を閉じます。

※この画面は、成果メディアの中の成果ファイルの有無を示すものです。どの成果が必要かは協議の上決定するので、「×」と表示されていても（成果が存在しなくても）必ずしも誤りであるとは限りません。必要な成果が格納されているかを確認する際に使用してください。

・プリンタ設定

[プリンタ設定]ボタンをクリックすると、以下の[プリンタの設定]画面が表示されます。

プリンタの設定画面



ここで、プリンタや用紙の設定を行うことができます。
設定した内容は、[印刷プレビュー]画面で確認することができます。

・閉じる

[閉じる]ボタンをクリックすると、[印刷プレビュー]画面を閉じます。

※印刷を実行する際には、Windows に印刷を行いたいプリンタのプリンタドライバがインストールされている必要があります。

4. エラー内容について

記録されるエラー内容についての、詳細な内容です。

■フォルダ・ファイルチェックについてのエラー内容

No	エラーメッセージ	詳細
1	フォルダ内にファイルが存在しません	フォルダ内にファイル及びフォルダが何も存在しません。
2	フォルダ名が半角英大文字又は数字 8 文字で命名されていません ファイル名が半角英大文字又は数字 8+4 文字で命名されていません	フォルダ名は、半角英数大文字及び「_」のみで 8 文字までで格納します。 ファイル名は、半角英数大文字及び「_」のみで 8 文字＋拡張子 4 文字までで格納します。
3	規定以外の名称のファイルが存在します	成果ファイル名が、命名規則に従って設定されていません。
4	規定以外の成果ファイルが存在します	電子納品要領により定められている名称以外の成果ファイルが存在します。
5	フォルダ更新日が指定範囲外です ファイル更新日が指定範囲外です	ファイル更新日のチェックを行った際、更新日が指定範囲外となっています。 ※DTD, XSL ファイルは更新日が指定日以降であるかのチェックは行っていません。
6	〇〇が存在しません	成果メディアに格納する必要があるフォルダ又はファイルが存在しません。
7	不要な工程のサブフォルダが存在します	チェックを行う際に選択した工程以外の工程の成果フォルダが存在します。 また、一部の工程は DATA フォルダにのみ存在することとなっていますが、その工程が WORK フォルダに存在した場合も同様のエラーとなります。
8	〇工程の測量記録・成果フォルダが存在しません	チェックを行う際に選択した工程の内、成果フォルダが存在しない工程があります。
9	成果ファイル名の設定記号 工程 (1,2 文字目) が不正です	成果ファイル名の 1,2 文字目は、各工程に対応した内容にする必要があります。
10	成果ファイル名の識別記号 細区分 (3 文字目) が不正です	成果ファイル名の識別記号 (3 文字目) は、測量細区分フォルダ名の末尾の文字と一致する必要があります。 例：測量細区分フォルダ名 成果ファイル名 CPROC_A → ○ TCA A 1001. PDF × TC B C1001. PDF
11	成果ファイル名の番号が 001～999 の範囲で振られていません 成果ファイル名の番号が連番になっていません 成果ファイル名の番号が、001 からの連番になっていません	成果ファイルを複数に分割する際は、成果ファイル名の 6～8 文字目に 001～999 の範囲で連番を割り振ります。
12	PDF 成果ファイル名の番号が、他の成果ファイル名の番号より前になっていません	1 つの成果で PDF と観測データを格納する際は、PDF のファイル名の番号が PDF 以外のファイルより先になる必要があります。 例：TCAD2001. PDF TCAD2002. *** TCAD2003. ***

No	エラーメッセージ	詳細
13	PDF 以外の成果ファイル名の番号が、PDF 成果ファイル名の番号より前になっていません	1 つの成果で SXF (または CAD ファイル) と PDF を格納する際、PDF のファイル名の番号が PDF 以外のファイルより後になる必要があります。 例：TCAF6001.*** TCAF6002.*** TCAF6003.PDF
14	成果フォルダ名が測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) に記述されていません	TISEKI フォルダ内の WORK フォルダ内に各工程の地籍調査記録フォルダが存在する場合は、測量情報管理ファイルの<測量情報>要素内に記述する必要があります。 TISEKI フォルダ内の DATA フォルダ内に各工程の地籍調査成果フォルダが存在する場合は、測量情報管理ファイルの<測量情報>要素内に記述する必要があります。 TISEKI フォルダ内に OTHERS フォルダが存在する場合は、測量情報管理ファイルの<測量情報>要素内に記述する必要があります。
15	成果フォルダ名が地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML) に記述されていません 成果ファイル名が地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML) に記述されていません	成果ファイルのファイル名、地籍調査細区分フォルダ名、地籍調査成果区分フォルダ名、地籍調査区分フォルダ名が、地籍調査成果管理ファイルに記述されていません。

※SXF ファイルは、P21 形式と SFC 形式がありますが、電子納品においては P21 形式を使用します。

■管理ファイルチェックについてのエラー内容

No	エラーメッセージ	詳細
1	管理ファイルが見つかりません	規定の場所に、管理ファイルが存在しません。
2	XML あるいは DTD の記述に誤りがあります	管理ファイルの記述が XML の文法に従っていません。 または、DTD ファイルとの関連が不正です。
3	Shift_JIS で記述されていません	管理ファイルが Shift-JIS コードで記述されていません。
4	必要な要素がありません	記述すべき要素が記述されていません。
5	必要なデータが記述されていません	要素はありますが、データが記述されていません。
6	規程の文字数を超過しています	項目毎に定められている文字数を越えています。
7	規程の文字数で記述されていません	項目毎に定められている文字数で記述されていません。
8	規程の内容で記述されていません	データをいくつかの候補の中から記述する項目に対して、候補外の内容が記述されています。 業務管理ファイル (INDEX_D.XML) の<適用要領基準>には「土木 201603-01」と記述する必要があります。 測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) の<適用要領基準>には以下の通り記述する必要があります。 地籍調査成果・・・・・・・・・・「地籍 201704-01」 官民境界先行調査・・・・・・・・・・「先行 201704-01」 ※スペースは入りません
9	半角数字のみで記述されていません	データに半角数字以外の文字が使用されています。
10	整数値で記述されていません	データが整数値として認識できません。
11	正の実数値で記述されていません	データが 0 以上の実数値として認識できません。
12	実数値で記述されていません	データが実数値として認識できません。
13	半角英数字のみで記述されていません	データに半角英数字以外の文字が使用されています。
14	半角英数大文字のみで記述されていません	データに半角英数大文字以外の文字が使用されています。
15	全角文字のみで記述されていません	データに半角文字が使用されています。
16	使用不可の文字で記述されています	文字として表示できないコード (制御コード以外)、外字、半角カナ文字や機種依存文字が記述されています。 (ローマ数字は許可しています) また、全角文字および半角英数字で記述する項目は、英数字は半角で記述する必要があります。 ※「土木設計業務等の電子納品要領 平成 20 年 5 月」の規定に沿って定義しています。
17	日付の形式 (YYYY-MM-DD) で記述されていません	年 4 桁+「-」+月 2 桁+「-」+日 2 桁で記述されていません。(例：2016 年 4 月 10 日→「2016-04-10」)
18	ファイルパス形式で記述されていません	フォルダ名は、半角英数大文字及び「_」の 8 文字までで記述します。 ファイル名は、半角英数字及び「_」で 8 文字+拡張子 4 文字までで記述します。 フォルダの区切りは「/」で記述します。
19	ファイル名の形式で記述されていません	フォルダ名は、半角英数大文字及び「_」の 8 文字までで記述します。 ファイル名は、半角英数字及び「_」で 8 文字+拡張子 4 文字までで記述します。

No	エラーメッセージ	詳細
20	メディア番号が不正です	チェックを行ったメディアの順番と、そのメディアの業務管理ファイル(INDEX_D.XML)の<メディア番号>要素内に記述している内容が一致していません。
21	メディア総枚数が不正です	チェックを行う際に指定したメディア枚数と、業務管理ファイル(INDEX_D.XML)の<メディア総枚数>要素内に記述している内容が一致していません。
22	記述されている成果フォルダが存在しません (測量情報管理ファイル:SURVEY.XML)	測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の<基礎情報>要素内に記述されているフォルダが、成果メディアのSURVEYフォルダに存在しません。 測量情報管理ファイルの<測量情報>要素内に記述されているフォルダが、成果メディアに存在しません。
23	記述されている成果フォルダが存在しません (地籍調査成果管理ファイル: SURV_TSK.XML)	地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されているフォルダが、成果メディアに存在しません。
24	記述されている成果ファイルが存在しません (地籍調査成果管理ファイル SURV_TSK.XML)	地籍調査成果管理ファイル(SURV_TSK.XML)に記述されている成果ファイルが、成果メディアに存在しません。 または、同一の成果ファイル名を複数箇所に記述しています。
25	助言番号または承認番号を入力してください。	「基礎情報」要素内で、「助言番号」または「承認番号」のどちらかを記述する必要があります。
26	地籍調査記録または地籍調査フォルダパス名を入力してください。	「測量情報」要素内で、「地籍調査記録フォルダパス名」または「地籍調査成果フォルダパス名」のどちらかを記述する必要があります。
27	規定以外の要素が存在します	電子納品要領で定められている項目名以外の要素が存在します。
28	XML 構文エラー	XMLの様式に誤りがあります。また、内容がDTDで規定されている様式に沿って記述されていません。